

新津の巨樹・名木③



オニグルミ (鬼胡桃)

(車場1丁目・小阿賀野川河川敷)

小阿賀野川の河川敷には、オニグルミがたくさん自生しています。その数は、新津市側つまり左岸だけでも、大小合わせるとおそろく100本以上になるでしょう。

このオニグルミはその中でも「大師所」と表現するのがぴったりという大木で、家来格の数本を従えて岸辺に立っています。樹高は12にほどですが、2.6に余りもある太い幹回り、根もとに生い茂る笹をかき分けないと確認できません。

もともとオニグルミは日本が原産で、種子は食用、材は器具用、樹皮・緑葉は染材というふう用途の多い木です。このように役に立つ木にもかかわらず、樹名に冠された「オニ」は、少しかわいそうな気がしませんか。



リレー随想

(269)

*このコーナーは、寄稿者が次の寄稿者を紹介して随想をリレーしていくコーナーです。

私たちの家族が新津に引越して来て、早いもので十三年になりました。以前住んでいたところが新潟市だったせいもあり、私がここに来て受けた印象は、「田んぼばかりで何も無い所だな」ということでした。しかし、私は田んぼから四季の変化を感じるようになり

田んぼと私

井越章子(こがね町)

ました。

引越してきたその日の夜、荷物の片付いていない部屋で、横になり聞いた蛙の大合唱。その鳴き声は、初夏が来るのを知らせてくれ、私にとっては忘れられない音となりました。

ハツとする鮮やかな緑色の夏の

田んぼは、じゅうたんのようです。

風にそよぐ苗は、気の遠くなる暑さの中でもさわやかで、夏の空の青と雲の白さによく合います。はさ木と田んぼを黒く浮き上がらせる夕暮れは、影絵のようで、海と夕日がいけれど、田んぼと夕日も負けずにきれいだな思っています。

のです。

そして稲穂が暖かそうな黄色になり、夜のひんやりした空気に、わらを焼くにおいが混じってきたら、秋が来ているのを感じます。

凍も張りつめた冬は、田んぼに積もった雪の白と、遠くに見える角田山と弥彦山の黒が墨絵を見て

いる気させます。

しるかきさした後の水の張った春の田んぼは、鏡を敷きつめたようで、光にきらりと反射します。

毎日、同じ景色を見ながら過ごしてきましたが、何も変哲のない田んぼと想っていたのに、実はいろいろな表情を私に見せてくれました。

ところが、二最近宅

地化が進み、私たちが引越してきた当時と比べると、田んぼはずっと少なくなりました。けれど私は、四季の移り変わりを感ずる心を忘れずに持ち続けていきたいと思っています。

このバトンをごがね町の金内まゆみさんへリレーします。

新津市の人口

男	32,164 (+46)	8月31日現在 (内は前月比)
女	34,463 (+10)	
計	66,627 (+56)	
世帯数	18,994 (+23)	
8月中の動き		
出生	61	死亡 56
転入	134	転出 185
結婚	10	離婚 5

お買物、ご用命は市内で

第22回全国菓子大博覧会

金沢菓子博'94

有功金賞 銘菓 栗太郎

ご慶弔式菓子



田家屋

新津市本町四丁目 TEL(02)0430

老舗の味をお気軽に

ご慶事・ご法事・各種宴会
仕出し料理承っております新味
割烹

春雨

新津市本町1(駅前通り) ☎22-1600(代)
FAX 22-1602